

PTA活動のこれから…

福島中の今年度のPTA活動テーマは「我ら福中応援団！地域巻き込み大作戦。」でした。

これは「学校」と「家庭」と「地域社会」が連携して、その機能を最大限に生かすためにPTAでできる取り組みをしよう！という事でした。

地域の方全員に福中の応援団になってもらい、地域全体で子供たちの育成に参加してもらおう、という事でこの活動が始まりました。

学校行事だった「職場体験」に、PTAが参画し、委員会メンバーで事業所を推薦し、受入れのお願いにあたり、2年生の体験事業所を開拓。「職場体験」後には、生徒たちが自らの体験を授業参観で発表。多く

の事業所の方に見学してもらいました。そしてPTA理事会で数社の事業所の方をお招きして、生徒たちの様子や感想を語っていただき今年度の「職場体験」は終了しました。

これまで体験事業所の方と関わる事のなかったPTAの保護者の皆さんが、「職場体験」を接点にして、地域（事業所）とつながり、子供の育成を通し感動とそ

の大切さを共有した素晴らしい経験となりました。「学校」には生きる力を培うという役割。「家庭」には生きる力の基礎的な資質や能力を育成する役割。そして「地域社会」には様々な生活体験・社会体験や自然体験を通して生きる力をしっかりと根付かせる場所と

いう役割があります。

この三者をつなぐのに最適な立場にいるのが実はPTAです。今年の福島中の取り組みは小さな一歩ですが、PTAの理事メンバー、そしてご協力いただいた事業所の皆様、福島中学校の先生方どれ一つ欠けても成功しなかったと思います。皆様に深く感謝すると同時に、この取り組みが今後のPTA活動の試金石になればと期待しています。

福島中PTA会長 鶴 邦弘



長野住建農村部での職場研修

がんばりよっしゃる！

JAふくおか八女農産物直売所「よらん野」は新装オープン一周年を迎え、「地場農業の活性化と消費者が安心して食せる生活」をモットーに地産地消の場として連日賑わいを見せている。なかでも生産者でよらん野利用組合長の中富靖子さんは、筑



中富 靖子さん

後市井田で40年余り苺栽培をてがけられ、あまおうなどハウス栽培の先駆者でもある。年輪を重ねられた笑顔からは感じられないほど、生物相手の仕事への熱意と組合員全員のスキルアップを図るための研修会など、長い経験と知識を存分に発揮され、毎日が多忙だが幸せの汗をかかれています。「がんばりよっしゃる！」方である。

八女署からの伝言板

高齢者の交通死亡事故多発!!

平成23年中、福岡県内の交通死亡事故者数は157名で、前年と比べると-13名と減少しましたが、65歳以上の高齢者の交通事故による死亡者数は85名、前年比+4名増加していました。なんと！交通死亡事故者の半数以上が高齢者だったということです。高齢者の皆さん！歩行者や自転車の方は、日頃から明るい服を着用し、反射材を身に着けましょう。道路を横断するときは、左右の安全を十分に確かめ、横断歩道を渡りましょう。

ドライバーの方は、夕暮れ時は早めにライトを点灯しましょう。特に、右左折時は横断歩道を通行中の歩行者等に注意しましょう。

矢部川源流・杣の里の四季 ⑨ 日向神ダムの千本桜

日向神ダムの千本桜は昭和35年（1960）、ダム完成の年にダム湖畔に植樹されました。品種は江戸末期にエドヒガンとオオシマザクラの交配により開発された日本で一番人気の高いソメイヨシノ（染井吉野）[バラ科]です。管理がよいので毎年見事な花が咲き、桜の名所となっています。開花時期は3月下旬から4月上旬です。開花情報はインターネットで日本気象協会の「桜情報」に掲載されます。

八女市矢部村では、毎年「桜まつり健康マラソン」が4月の第1日曜日に開催されています。また、「シャクナゲ祭り」も同時に開催されます。矢部川上流のすばらしい自然をお楽しみ下さい。（黒木町）松尾重根



はい たなかふどうさんです

株式会社田中不動産代表取締役田中秀保と申します。今後不動産屋の実務内容、不動産業界のトラブル等をご紹介しますので、よろしくお願い致します。さて今回は、賃貸物件についてお話しします。お部屋探しに御来店されるお客様からよく「安くていいところを探しています」と言われます。これは不動産屋にとって一番難しい条件です。というのも、家賃はおおよそ相場通りに設定されていますので、「安くていいところ」というのは基本的に存在しません。貸し手は高く貸したい、借り手は安く借りたい、その思惑の中バランスをとりつつ、家賃というのは決まっています。決して景気がいいとはいえない今のご時世、不動産屋の収入源であります仲介手数料は、成功報酬が大原則ですので、成約しないと基本的にはお金は頂けません。現在、筑後地区の賃貸物件の状況は、全体的に供給過剰の傾向にありますので、ほとんどの不動産屋は、物件の中で一番オススメの物件を紹介すると思います。どの不動産屋も物件を見るだけはタダだと思いますので、内覧して「いいな」と思ったら、思い切って引っ越しても失敗する事は少ないでしょう。

（株）田中不動産 代表取締役 田中秀保 広川町 ☎32-1882

山登りだよ人生は！ ぐじゅう中岳と御池渡り (1791m)



くじゅう連山の中央、天狗ヶ城の下に広がる御池は直径が60m程あり、冬の間は凍ることがある。

この氷結した池を渡るのが「御池渡り」と言うらしい。

今日は快晴の登山日和で、甥の貴朗君とその友人の山口君を引き連れて中岳を目指す。

約2時間で御池着となり、氷結を確認して御池渡りとなった。ここで写真撮影直後に

思わぬハプニングが。「バキッ」と鈍い音と共に水面が数センチ落ち込んだのである。

3人は悲鳴と共にその場を離れ難を逃れた。

その後は中岳から天狗ヶ城を周回すると、四国や宮崎、鹿児島やまなみが見渡せ、これ程の絶好視界は非常に珍しい事だった。

八女文化連盟写真部 樋口 清人

春のてのひら

紙風船 黒田 三郎

落ちて来たら今度は

もっと高く何度でも打ち上げよう

美しい願いごとのように

カレンダーの「立春」が待ち遠しいほどの寒さが続き、今年初めての雪が降った朝、花壇の吹き溜りに紙風船がひとつ落ちていた。「わあ、珍しい」と拾い上げた私の心のひらで、ふつくと膨らんだままの赤、青、緑、黄、白五色の紙風船は、キラキラと輝いていた。

思いがけない朝のお届け物だった。

黒田三郎の「紙風船」という詩が、自然と口をついて出てきた。誰もがすぐに暗記できてしまう、わずかに七行の短い詩。ソネットの半分。夢と希望の詰まった言葉たち。

幼い頃、行商の薬屋が「お嬢ちゃん、ハイヨ」とくれた紙風船、妹と駄菓子屋で買った紙風船。ふうーと息を吹き込み、膨らませ、落とさぬように空に向かって夢中で打ち上げた。おかつは頭の純な子供だった。

凍えていた私の心に、春のてのひらが高らかに打ち上げた紙風船が、空から降ってきたのかも知れない。春はすぐそこに来ている。

蓉子